

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○			○	○	○		○	○	○	○		○	

## 企業の概要

社名	株式会社石井事務機センター	都道府県	岡山県
業種	事務機器・事務用品の販売	従業員数	24名 ※2016年9月現在
事業概要	笑顔溢れるワークスタイル創造提案業		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	有り
テレワーク推進担当部門	サポートチーム
テレワーク対象者	6名 ※2016年9月現在
実施者数	6名 ※2016年9月現在
実施日数	週2回

## テレワークの導入・拡大の経緯

往々にして中小企業では、育児等で休まれるのは困るという潜在意識が見受けられ、求人についても良い人材が確保できない旨を聞いていました。当社においても、当社の経営理念に沿った3つのテーマのベストバランスでもある「仕事と生活の調和」が取れる環境作りを目指して、能力ある女性社員の戦力化が必要で、テレワークを導入することで、当社のお客様に対しても導入からアフターフォローまでもトータルでサポートできると思ったからです。

## テレワークの概要・特徴

テレワーク導入の課題となったのは、2つの管理をどうするか？でした。1つ目は在宅ワークの際の労務管理、2つ目は情報セキュリティの管理です。外部から社内のネットワークにアクセス出来るようにするため、当然ながら社内の情報にアクセスが出来てしまうということに対して、テレワークを行う社員も有事の際の疑惑をかけられてしまうのでは？という不安が双方にありました。そこで弊社はまずVPNで社内と社員の自宅を仮想ネットワークで結び、労務管理についてはWEB会議システムを活用し、画面越しにフェイストウフェイスでコミュニケーションをとりながら、実際に社内にいるような感覚で仕事出来る環境を構築しました。当然画面越しに確認が出来るので当初の管理面の不安は解消されました。また情報セキュリティの管理についてはPC操作ログの管理ソフト導入し、全ての操作の管理を社内側から制御また操作ログを収集することで、お互いの情報漏えいのリスクを解消しました。それらの技術は従来からありましたが、当社はそれらを組合せ中小企業でも可能な価格帯でのテレワークの環境を構築しました。

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

本来は子供が急な病気になった時などの、イレギュラー時にテレワークを活用する予定でしたが、使い勝手もよく社員から非常に好評で、今では仕事の内容や量に応じてテレワークをシフトに組み込んでおります。テレワークを導入したことによって、既存の社員(特に女性社員)の将来長く勤務出来ることへの安心感が向上しました。更に人材の採用においても、テレワークを導入し活用していることで、他社との差別化になっており、採用力の向上にも繋がっていると感じています。